

小中一貫教育説明会における意見・質疑まとめ

日 時：平成30年11月7日（水）午後7時30分～

場 所：田原小学校図工室

参加者：増田教育長 光嶋教育部長 岩井学校教育課長 細矢学校教育課課長補佐
保護者6名

【通学方法について】

☆・4キロは中学校から具体的にどこまでか。

・中学生は自転車で小学生は徒歩か。

・スクールバスが出るとかでないといろいろな噂が出て、好き勝手にいつているからどれが正しいかもわからない。小中一貫はどちらでもいいが、通学のこと、遅れたときや免許を持ってない保護者のこととか一番気になるところ。(女性)

☆徒歩ならそれなりの人（見守り）を置かなければいけない。スクールバスと思っている保護者がそうでなければ反感が来る。通学それだけで保護者は変わってくる。歩きたい人は歩いたらいい選択肢もあれば。(女性)

【教育制度等について】

☆・現場教員の意見や調整は何かあったか。メリット・デメリットも現場の教師間（管理職以下の教職員）で話し合いはあるのか。

・一体になることで学力の底上げ、上をさらに伸ばすことができるようなことが起こり得るのか。現状よりもやりやすい環境が提供されるのか。(男性)

☆クラスの人数が少ない事によってどれくらい仕事量が違うのか。一人で多くを見る弊害をいえば、2人でみるメリットも出てくる。(女性)

【施設について】

☆分離型の場合、どちらか片方の小学校に集約する形は検討していないのか。児童の移動に毎日時間が必要と言うのはどのような状況か。(男性)

【広報について】

☆説明会の開催は参観の後や子どもの年齢とかで昼間か午前中が良い。
説明会の日が保護者に伝わっていない。情報が入ってこない。幼稚園・小学校に配ってもらうよう送ればいい。(女性)

☆説明会をまめにしているが、広報手段については工夫すべきではないか。来ていない人に説明会の議事や内容を発信、公開してほしいという声もある。資料の新しい情報は子どもたちに持ち帰らせてほしい。

実際に一体校の恩恵を受ける世代をどう開拓してきちんと発信するか。学校は毎日情報を発信しているので、活用もできる。発信の際、フィルターをかけるのも良い。

(男性)

【その他】

☆幼保連携も視野に入れるのであれば、高大もクラブ活動のアシストなどできる仕組みを考えてほしい。(男性)